



<日本語翻訳版>

※本リリースは、日本語翻訳版です。原文（英語）は以下ウェブサイトをご覧ください。

http://www.adidas-group.com/media/filer_public/c3/ed/c3ed4f61-5a0b-4b78-8684-a0891a61f235/adidas_and_parley_for_the_oceans_showcase_sustainability_innovation_-_press_release.pdf

アディダス、PARLEY FOR THE OCEANS とともに 国連の気候変動イベントにてサステナビリティ・イノベーションを発表

2015年6月29日（米国・ニューヨーク） - 本日、アディダスは、海洋環境保護に献身的に取り組む Parley for the Oceans（パーレイ・フォー・ジ・オーシャンズ）との間で先日発表されたパートナーシップを祝うべく、国連本部という特別な場所で、今回のコラボレーションをきっかけに誕生した革新的なフットウェア・コンセプトを発表しました。

Parley for the Oceans とは、海洋環境の現状に関する認識を高めるために、様々なクリエイター、思想家、リーダーたちが集い、その保護・保全を訴えるプロジェクトでのコラボレーションを展開する団体です。創設メンバーの一員として、アディダスは Parley for the Oceans による教育及びコミュニケーション面での取り組みや、プラスチック廃棄物による海洋汚染の終結を目指す包括的な Ocean Plastic Program（海洋プラスチック・プログラム）をサポートしています。

本日、ニューヨークでは、国連総会議長によって招集された、気候変動に関するハイレベル・イベントの一環として、「Oceans. Climate. Life.」と題した Parley Talks イベントがニューヨークの国連総会ホールにて開催されました。環境問題の専門家、クリエイティブ制作者、科学者、起業家等によるブリーフィングでは、海洋を取り巻く悲惨な現状や気候変動が取り上げられる一方で、Parley のコラボレーターたちからは、彼らのビジョン、各種取り組み、プロジェクト、イノベーション、そしてソリューション等についてのプレゼンテーションが行われました。

今回の UNxParley イベントでは、くつろいだ雰囲気の中で報道関係者が集まる中、アディダスグループ経営幹部としてグローバル・ブランドを統括する Eric Liedtke（エリック・リック）と、Parley for the Oceans の創設者である Cyrill Gutsch（シリル・グッチ）氏が、組織的なパートナー関係について語り合い、ユニークな試作品を披露するという一幕も見られました。アディダスでは、海洋廃棄物や違法に設置された深海の刺し網より回収・再利用した糸と繊維のみで 100%作られた世界初のシューズ・アッパーを新たに開発しましたが、この刺し網については、Parley のパートナー組織でもある Sea Shepherd（シー・シェパード）が、非合法の密漁船を 110 日間にもわたって追跡し続けた結果、ようやく西アフリカ沖合で回収するに至りました。

このコンセプト・シューズは、本年度後半の発表が予定されている、海洋プラスチック廃棄物を再利用した一般消費者向け製品に先がけて、アディダスと Parley for the Oceans が目指す方向性を示しています。



アディダスは、再利用した海洋プラスチック廃棄物及び刺し網のみを原料とする、世界初のシューズ・アッパーを開発



「Parley for the Oceans では、気候変動をめぐる議論に欠かせないものとして海洋の存在を確立したいと考えています。私たちの目的とは、一般市民の関心を高めつつ、海洋の保護・保全に貢献できる新たなコラボレーションに向けたインスピレーションを提供していくことにあります」と語ったのは、Cyrill Gutsch 氏です。「アディダスが私たちの掲げるミッションへの参加を表明し、その創造力をもって私たちのパートナーシップを支援してくれていること、海洋プラスチック廃棄物もクールなものへと変化させられると示していることを、私たちはこの上なく誇らしく思っています。」

一方、Parley for the Oceans の運営委員会の熱心なメンバーでもある Eric Liedtke は、次のようにコメントしています。「Parley for the Oceans に合流するかたちで、海洋をめぐる大義に国連からの関心をいただき、信じられないほど興奮しています。アディダスは、長年にわたってサステナビリティのリーダーを務めてきましたが、このパートナーシップにより、当社として新たな分野に進出し、私たちがサポートするアスリートたちのために革新性に富んだ素材や製品を生み出していくことができます。海洋浄化をテーマとしたこのプロジェクトにぜひご賛同いただければ幸いです。」

-- 以上 --

Parley Talks イベント、『Oceans.Climate.Life』における発表者（敬称略）：

Cyrill Gutsch (Parley for the Oceans 創設者) ; Captain Paul Watson ; Eric Liedtke ; Pharrell Williams ; Chris Jordan ; Sylvia Earle ; David Rothschild ; Louie Psihoyos ; Tim Coombs ; Ora Ito ; Iain Kerr ; John Warner ; Sid Chakravarty.

アディダス及び Parley for the Oceans - 詳細情報

アディダスは、Parley for the Oceans の創設メンバーです。また、アディダスグループ経営幹部としてグローバル・ブランドを統括する Eric Liedtke は、Parley for the Oceans の運営委員会の熱心なメンバーでもあります。

同社の Parley for the Oceans とのパートナー関係の基盤となる 3 つの柱は以下の通りです。

- コミュニケーション及び教育: パートナー同士が緊密に協力し合い、『Parley Talks』と呼ばれる会合、ワークショップ、その他のイベント等を通じて、海洋汚染の問題への認識を高めていきます。さらに、消費者、アスリート、アーティスト、デザイナー、役者、ミュージシャン、科学者、環境問題の専門家等を巻き込みながら、海洋保護の大義に声を上げ、貢献していきます。
- 研究及びイノベーション: Parley for the Oceans とのパートナー関係を通じて、大いに意義のある環境保護に貢献すると同時に、海洋プラスチック廃棄物を原料とする新繊維の共同開発に取り組み、段階的ながらも絶え間なくアディダス製品へと取り入れていくものとします。同社の掲げる最終的な目標は、インライン活用です。
- 海洋プラスチック汚染に対する直接的な行動: 海洋プラスチック回収の分野に積極的に取り組む現地組織の特定、資金提供等の面においても、アディダスは Parley for the Oceans をサポートしています。

アディダスグループのサステナビリティアプローチについて：

アディダスグループのサステナビリティ戦略は、グループとしての価値観、すなわち、performance (パフォーマンス)、passion (情熱)、integrity (誠実さ)、そしてdiversity (多様性) に根付いたものです。それは、これまでに達成したことや過去からや学んだことに基づき、社会情勢、今後の世界的なトレンド等を考慮して定められています。アディダスグループの戦略における4つの柱は以下の通りです。

- People (人々) : 当社従業員や工場働く人々、そして当社ビジネスが進出しているコミュニティに暮らす人々の生活に前向きな影響をもたらしていきます。
- Product (製品) : 主にイノベーション、よりサステナブルな材料の使用増加、さらに効率性を通じて、製品作りにおいても、より良い方法を見つけていきます。
- Planet (地球) : 自社オペレーション及びサプライヤー各社の工場のどちらにおいても、環境への負荷を減ら



していきます。

- Partnership (パートナーシップ) : 重要なステークホルダーを巻き込み、パートナー各社と協力しつつ、業界の改善に取り組んでいきます。

アディダスグループの継続的な取組に関する詳しい情報につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.adidas-group.com/en/sustainability/managing-sustainability/general-approach/>

アディダスとサステナビリティ - 活動事例

- 2014年度、アディダスグループではこれまで以上に『Sustainable Cotton (サステイナブル・コットン)』の使用を増やし、全社規模では当初計画の25%を上回る30%調達分が『Better Cotton (ベター・コットン)』に。アディダスグループでは、2018年までに傘下ブランドすべてにおける全製品を対象として、調達されるコットン100%を『サステイナブル・コットン』とすることを確約。尚、アディダスグループは、『Better Cotton Initiative (ベター・コットン・イニシアチブ)』の創設メンバーでもあります。
- 2012 年度以降、同社アパレル製品における再生ポリエステル繊維の使用を大幅に増やした結果、2014 年度末には再生ポリエステルの使用量がおよそ 1,100 万ヤードに。これは、アディダス T-シャツの約 700 万枚分に相当するもので、プラスチックボトルより再生したポリエステルを使って生産することで、海洋廃棄物となり得る事態を食い止めています。同社では、今後数年間にわたって再生ポリエステルの使用をさらに増やし続けていく予定で、Parley とのパートナーシップによる当該プロセスの促進効果が期待されます。
- 2014 年度、サステナビリティをリテールにも取り入れるべく、同社初となる『グリーン』リテール・コンセプトに基づいた HomeCourt Store (ホームコート・ストア) を母国ドイツのニュルンベルクにオープン。資源・エネルギー節約のための様々な機能・設備を誇る画期的な店舗となりましたが、さらに同社では 2016 年より直営店におけるプラスチック袋使用の段階的終了も決定しました。

Parley for the Oceans - 詳細情報

www.parley.tv
www.facebook.com/parleyfortheoceans
Twitter: @parleytv
Instagram: @parleyxxx

グローバル担当者 連絡先情報:

Sebastian.bell@adidas.com
Silvia.Raccagni@adidas-group.com
Maria.culp@adidas.com